

博士号取得

エネルギー応用研究所 都市・産業技術グループの渡邊激雄さんと、電力技術研究所 原子力・材料・化学グループ 原子力チームの渡邊将人さんが、3月25日に名古屋大学から博士(工学)の学位を授与されました。

渡邊(激)さんは、都市・産業技術グループのグループ長としての業務の傍ら、名古屋大学大学院 工学研究科 機械理工学専攻 新美智秀教授のご指導のもと、業務用エアコンのエネルギー消費量評価と大型店舗における空調の省エネルギー化に関する研究に取り組んできました。

渡邊(激)さんは「社内外の多くの方々のご理解、ご配慮により博士号が取得できました。この知見を、より優れた空調機器や省エネ提案ツールの開発に役立てたい」と語っています。

渡邊(将)さんは、原子力発電所の原子炉に関する研究などに従事しながら、名古屋大学大学院工学マテリアル理工学専攻に入学し、山根義宏教授のご指導のもと、沸騰水型原子炉の中性子モニタ指示値の予測精度向上に関する研究に取り組んできました。この研究成果により、原子炉の長期停止時において起動用中性子源の必要性判断を支援でき、さらに燃料装荷作業の効率化が期待

できます。渡邊(将)さんは、「多くの方々のご支援とご協力により学位を取得できました。特に、開発した手法の予測精度を確認するために発電所にて試験した際には、現場の方々にたいへんお世話になりました。今後は、廃止措置中の浜岡1、2号機の残存放射エネルギーの評価精度向上に取り組みたいです」と語っています。



博士号を取得された渡邊激雄さん(左)と渡邊将人さん(右)

「電力技術研究会 第18回顧問会・第47回委員会」を開催

6月4日、本店にて電力技術研究会 顧問会・委員会を開催しました。

冒頭の挨拶で、藍田会長は「地球温暖化対策基本法案」の審議について触れ、今後の電気事業・当社としても対応が不可欠であると述べられました。

委員会では、各専門部会の活動報告が行われ、社外委員の先生方から、多くのご提言もいただき、活発な意見交換が行われました。

また、委員会終了後、昨年度末で顧問をご退任された森先生(名古屋大学名誉教授)と田辺先生(名古屋大学名誉教授)に対し、永きに亘る研究会への功績を称え、感謝状贈呈式を行いました。



挨拶する藍田会長



森先生



田辺先生



顧問会・委員会 出席者